

機 器 仕 様 書

1 浴槽本体仕様

浴槽本体は以下の仕様の範囲とする。

外形寸法：2622 (L) ×1047 (W) ×1200 (H) mm 以内

電 源：3 相 200V

重 量：約 400kg 以下

浴槽内実使用湯量：約 305L

有効水深：535 ～ 605.5mm (可変式オーバーフローの調整範囲)

浴槽縁高さ：930mm

給 湯：20A 1 本

給 水：20A 1 本

排 水：80A 掘込内 2 ヶ所

(浴槽本体)

【安全性】

- ① 安全性やスムーズな入浴を考慮して、入浴用車椅子はキャスター部が分離せずに浴槽内に進入できる方式であること。
- ② 入浴を行う際に入浴者の状態や姿勢を介助者がすぐに把握できるように、また入浴中に入浴者の表情をすぐに確認できるように、介助者と入浴者が向かい合うことができる対面式入浴であること。
- ③ 小柄な利用者も安心して入浴できるよう低い水位で湯はりが一旦停止する機能と、体格に合わせて必要な分だけ足し湯を行える「たし湯機能」を有していること。
- ④ 火傷事故のヒヤリハットを防止する為に、タンク内や浴槽内の高温や低温の異常を点滅でお知らせし、給湯・送湯を自動で停止する機構を有していること。
- ⑤ 入浴状態をいつでも確認する為に、タンク内温度や浴槽内温度を表示し、遠くからでも見る事が出来る大きさのパネルを有していること。また、安全のための入浴時間計を有していること。
- ⑥ 入浴時の急な体調の変化に対応する為に、緊急に排水できる機構を有していること。
- ⑦ 入浴時に停電が起こってしまった場合でも、出浴を可能にする為に、手動でも扉を開けることができるようになっていること。

【快適性】

- ⑧ 衛生面及び湯冷めを考慮して、一人の入浴ごとに新湯を 30ℓ 程度注ぎ足す機構であること。

- ⑨ 入浴者の快適性を考慮して、気泡浴の装置を有していること。(標準仕様)
- ⑩ 浴槽のマイクロバブル仕様を選択することで、浴槽内にマイクロバブル(超微細な気泡)を発生させることができるマイクロバブル機能を使用できる浴槽であること。

【介助性】

- ⑪ 介助性を考慮して、タンクは本体と一体化していること。
- ⑫ 省スペースでの設置に対応するため、車椅子が浴槽に斜めに進入することができること。
- ⑬ 扉の開閉は、操作性と安全性に考慮し、半自動であること。また、入浴者の挟み込み等を防止する為に、扉が閉まりきる前に一時停止をして入浴者の体が脱落していないかを確認できる機構を有していること。
- ⑭ 操作を音声で案内する音声サポート(S ナビ)機能を有していること。また、音声機能はメインパネルのボタン操作で簡易に入切が行えること。
- ⑮ 必要に応じて素早くさし湯が行えるように、「メインパネル」と「サイドパネル」の2か所からボタン操作にてさし湯の入切が可能なこと。

【衛生面】

- ⑯ 衛生面を考慮して、厚労省の指針に沿った殺菌を行える塩素殺菌装置を有していること。入浴中に浴槽のお湯を殺菌する 刺激を抑えた薄めの塩素殺菌(0.6ppm程度)と、一日の終わりに浴槽と車椅子を同時に殺菌(1ppm程度)する塩素殺菌を選べる機能を有していること。
- ⑰ 普段のお手入れにプラスして配管内を洗浄できる配管洗浄機能を有していること。
- ⑱ タンク内部は衛生面と保温性を考慮してステンレス製であること。
- ⑲ タンク内の清掃を容易にする為に、貯湯タンクの高さを約 1005mm 以下とすること。

2 入浴用車椅子仕様

外形寸法：1014 (L) × 567 (W) × 1269 (H) mm (標準姿勢)

座面高さ：455mm

重 量：約 47kg (BWC-160)

リクライニング：通常時 4 段階 (102 度、122 度、142 度、165 度)

チルト時 2 段階 (102 度、122 度)

チルト：座面角度 0 度、18 度

(入浴用車椅子)

【安全性】

- ① 安全でスムーズな入浴を考慮して、入浴用車椅子は接続時に分離しない上下

一体構造による脱落のない構造であること。

- ② フレームは浴室での使用を考慮して、ステンレス製であること。
- ③ 安全面を考慮し、腹部と胸部にそれぞれベルトが装備されていること。また、ベルトが皮膚に直接触れないようにパットが装備されていること。
- ④ キャスターは安全面を考慮して、4輪全てにブレーキを有していること。
- ⑤ 入浴者の足の脱落を防止する為に、フットレストに かかと受けを有していること。
- ⑥ 入浴時の姿勢安定やフルリクライニング時の転落防止のため、サイドサポートを装備していること。

【快適性】

- ⑦ チルト時にもリラックスした姿勢がとれるように、チルト状態でもリクライニング角度が2段階から選択できること。
- ⑧ 安全性や快適性を考慮し、リクライニング角度に合わせて手すりの位置を2段階設定できること。

【介助性】

- ⑨ 多様なADLレベルの入浴者に対応する為に、リクライニングが4段階できる機構を有していること。
- ⑩ 入浴時の前ズレを防ぐため、チルト機能が装備されていること。
- ⑪ ヘッドレストは、入浴者の体型に合わせて高さの調節が可能なこと。
- ⑫ フットレストは移乗動作等の介助性を考慮し、回転式開閉機構であること。
- ⑬ 移乗や介助を考慮し、レッグレストは内側に向かって凹みがある形状であること。
- ⑭ 介助者が側方及び前方から足を踏み込んで介助ができるよう、車椅子下部のフレームは3方向からのアプローチが可能なH型であること。
- ⑮ 介助性を考慮し、手すりが跳ね上げ時にロックすること。

【衛生面】

- ⑯ レッグレスト（足受）、バックレスト（背当て）はそれぞれ快適性、衛生性を考慮して交換可能なマットが装備されていること。